

アートで知ろう！

室蘭市の魅力発見 プロジェクト

アートで様々な視点を増やし、今ある室蘭市の魅力に気づいてもらいたい

チーム あんだんて

アイデア実現のための簡単な流れ

毎年実施のMuroran Art Projectで問いかけ看板と対話型鑑賞を使い、まちの魅力再発見のきっかけを作る。



展示の方法

展示作品の前にふと考えて誰かと話したくなるような問いかけ型の看板を設置する

対話型鑑賞

近年様々な美術館で行われている手法。美術の知識を持って鑑賞するのではなくその場で感じたことを共有し鑑賞する。

室蘭にはたくさん魅力的なところがある。しかし、室蘭市民はその魅力に気が付いていない。その結果、学校が多い地域なのにもかかわらず若者が流出したり、地域愛着が減ったりしている。(図1、図2)

そこで、既に開催されているMAP (Muroran Art Project) で室蘭市の魅力に気づくきっかけを提供する。

市民が魅力に気づくことができれば、若者の流出を抑制できるだけでなく、シビックプライドが形成され、最終的には市内外の人から見て室蘭市が魅力的なまちになるだろう。

「わがまち」といった愛着や親しみを感じるか

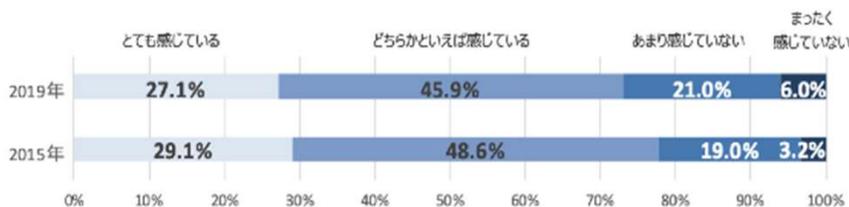


図26 「わがまち」といった愛着や親しみについて 2015年(平成27年)との比較

図1：室蘭市総合計画・新基本計画 P28

		年間増減数
道外	転入	778
	転出	910
道内	転入	1986
	転出	2627

図2：令和5年度 室蘭市住民基本台帳登録状況(総数)